

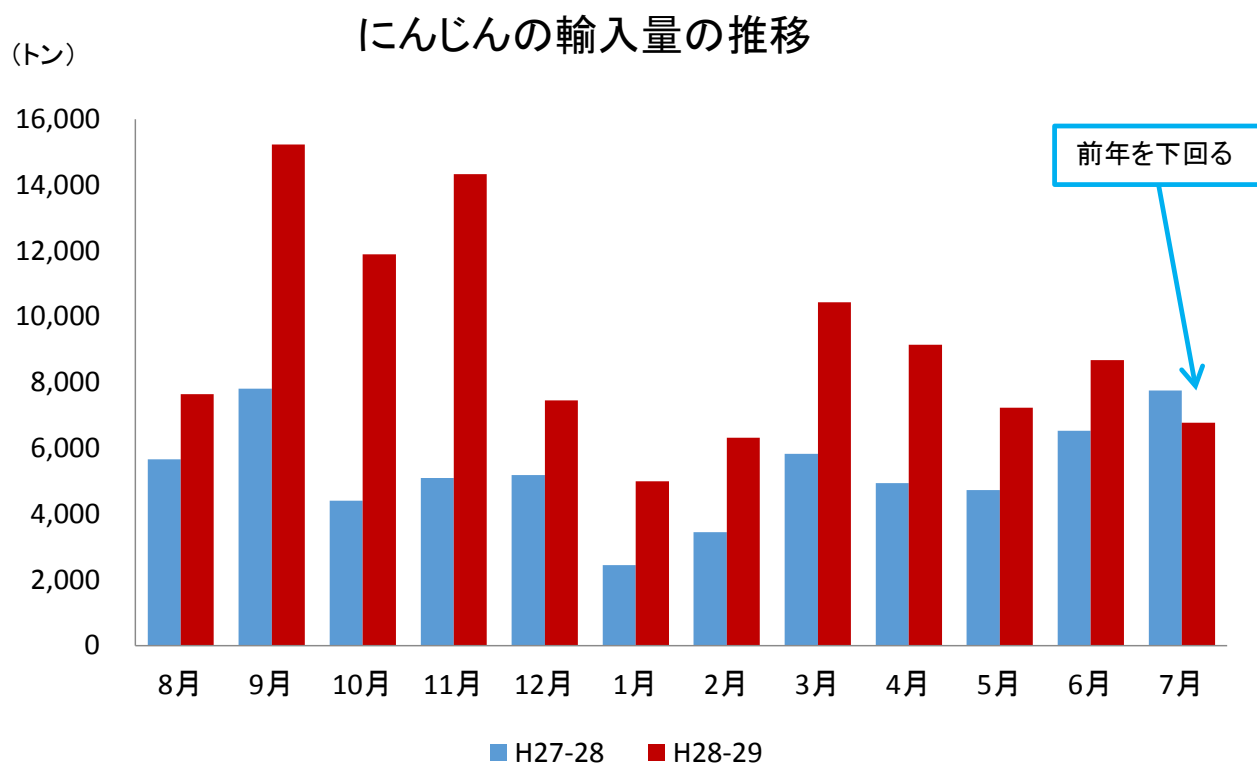
平成 29 年産秋にんじんの卸売数量と価格の動向

○ にんじんの輸入量は、昨夏の台風・長雨の影響により国内産が不作となったため、昨年 8 月～本年 6 月までの輸入量は、対前年同期を大きく上回って推移。輸入量増加による流通在庫は、7 月以降の市況に影響。（参考 1）

そのよう中、秋にんじんの主産地である北海道においては、7 月以降天候に恵まれて生育が順調となったため、出荷数量が平年を上回る状況が続いている。（参考 2、参考 4）

このため価格は、7 月下旬以降は、平均価格を大きく下回る状況が続いている。（参考 3）

【参考 1】



	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
H28-H29	7,645	15,236	11,901	14,341	7,458	4,997	6,317	10,443	9,154	7,236	8,677	6,776
H27-H28	5,666	7,813	4,412	5,095	5,183	2,450	3,450	5,837	4,943	4,725	6,538	7,762

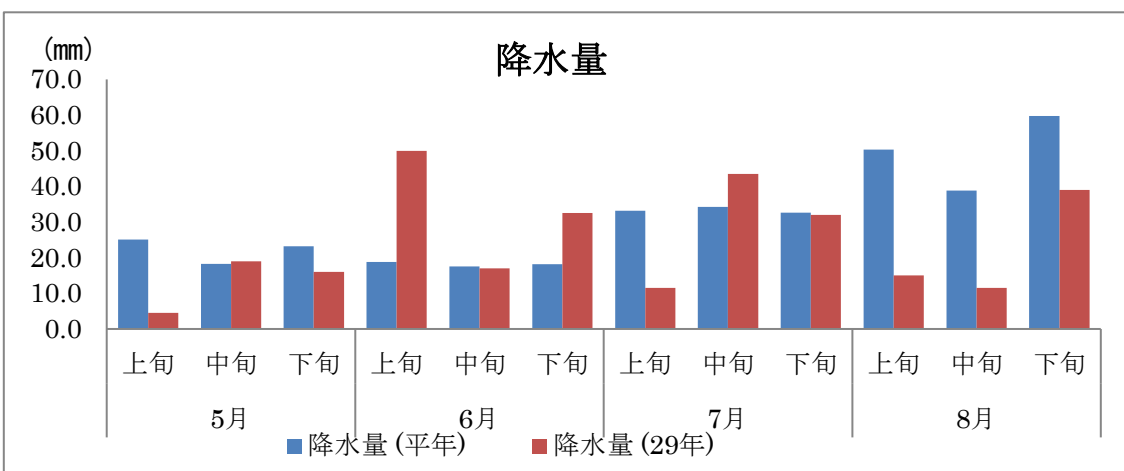
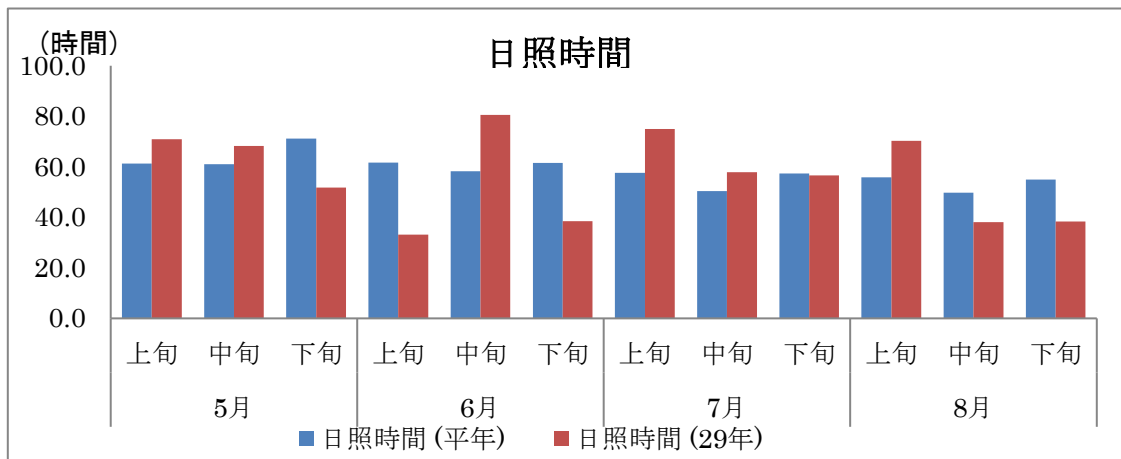
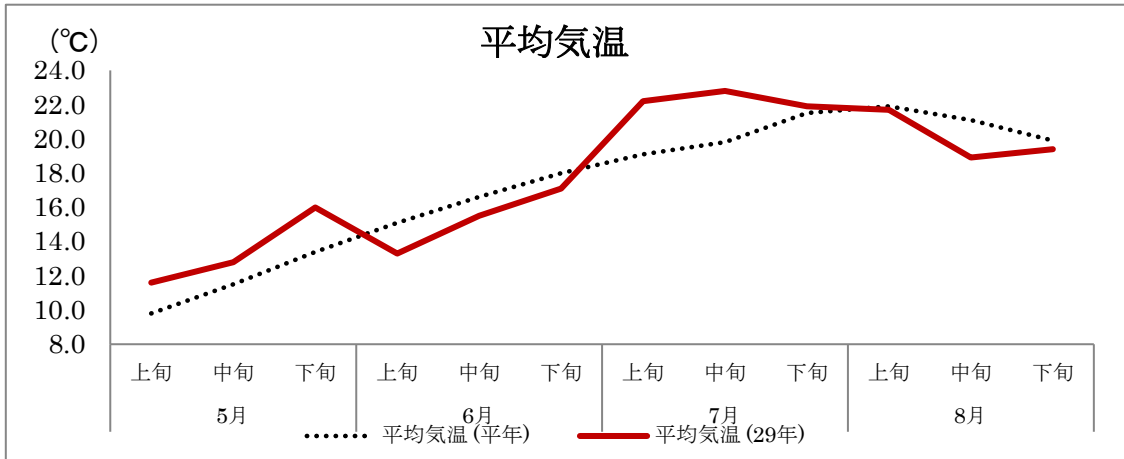
（トン）

※農林水産省「植物防疫統計」

【参考4】

平成29年産秋にんじんの主産地（北海道 富良野）の気象状況

- 気温は、5月と7月は110%台と平年を上回り、6月と8月は概ね平年並みとなった。
- 日照時間は、6月は平年同月比84%、8月は同91%と下回ったものの、7月は平年同月比115%、5月は概ね平年並みとなった。
- 降水量は、6月は平年同月比183%と大幅に上回ったものの、7月は87%、5月59%、8月は44%と大幅に下回った。



資料: 農畜産業振興機構「ベジ探」

原資料: 気象庁「AMeDAS」